

あけましておめでとうございます

明けましておめでとうございます。

昨年、フランスで1月に風刺週刊誌シャルリー・エブド襲撃事件、12月にパリ中心部で連続テロ事件がありました。また、イスラム国による、後藤さん湯川さんの殺害があり、テロに始まり、テロに終わった印象があります。

国内では、安倍政権が立憲主義を破壊する安全保障関連法（＝戦争法）を強行可決しました。沖縄では2014年の一連の選挙で、新基地はいらないという民意を示したにもかかわらず、安倍政権は新基地建設を強行しています。こうした中、戦争法に反対する運動が大きく盛り上がり、また、辺野古基地建設に反対する運動も、知事の辺野古沿岸の埋め立て取り消し、キャンプシュワブ前の座り込みなど粘り強くすすみました。

「日本の軍事大国化」を阻止し、平和で豊かな沖縄・日本をつくっていききたいものです。医療・介護の分野では、4月に介護報酬のマイナス改定があり、その影響で、老人福祉・介護事業の倒産件数が過去最多を更新しました。高齢化がすすみ介護需要が高まる中、介護事業所の減少は深刻で、NHK特集では無届け介護ハウスの増加の状況を報道しました。

さて、中部協同病院の医療活動は、昨年もしっかりと前進しました。休止していた、泌尿器外来を再開することができました。

医師研修では、初期研修医を毎月迎えるようになり、中部協同病院研修経験医が増えました。今後、さらに研修を充実していきたいと思っております。

中部地域には、医療生協のネットワークとして、高齢者住宅・美里ハウスや小規模多機能ホーム・石川にじの家がありますが、2015年5月には、社会福祉法人沖縄にじの会の特別養護老人ホーム「知花の里」がオープンしました。中部協同病院は協力病院として活動を開始しました。

2015年は、療養環境の改善と、診療報酬改定への対応ということで3階病棟の改修工事が行う予定でした。通所リハの移転を行い、その後、病棟改修の予定でしたが、情勢の変化やその後の検討で、新病院建設の機運がたかまり、病院建設へ大きく舵をきりました。今、議論と、準備が急ピッチに進んでいます。

今年も昨年同様、地域の医療要求に応える医療活動をおこなっていききたいと思っております。

地域の医療・介護施設との連携・交流を活発にしていきたいと思っております。また、無料低額診療事業も継続して取り組み、経済的理由から病院にかかれない人たちに役立てたいと思っております。

今年、中部協同病院の課題は、①新病院建設の準備②医療活動の発展に伴う職員の確保と育成③医療の質の改善④接遇の改善⑤在宅医療の強化などですが、職員一同元気にがんばっていききたいと思っております。本年もよろしくお願いいたします。



中部協同病院
院長 与儀洋和

明けましておめでとうございます。
昨年は「医療から介護へ」「施設から地域へ」そして、「時々入院、ほぼ在宅」というように地域包括ケア構築のための取り組みを進めてきました。病棟では、地域包括ケア病床を徐々に増床し、2015年6月までに地域包括ケア病床69床、一般急性期45床の届け出を行いました。また、病養環境の充実と安全・安心な医療の提供ができるよう看護補助者も増員し看護補助加算25：1の取得も行いました。

在宅医療では、2014年の診療報酬改定で在宅看取りの実績要件が厳格化されました。当院訪問診療においても、患者・家族の思いに寄り添い、地域の医療機関、介護施設との連携を深めながら在宅での看取り支援に取り組んでいるところです。

教育の面では、日本看護協会主催の皮膚・排泄ケア認定看護師が誕生予定です。また、その他「医療安全管理者養成講習会」を2名、「看護管理者教育課程ファーストレベル研修」を1名が受講し修了しました。今後も、看護師一人ひとりが目標をもち、共に学びあい育ちあいの教育を継続していきたいと思っております。

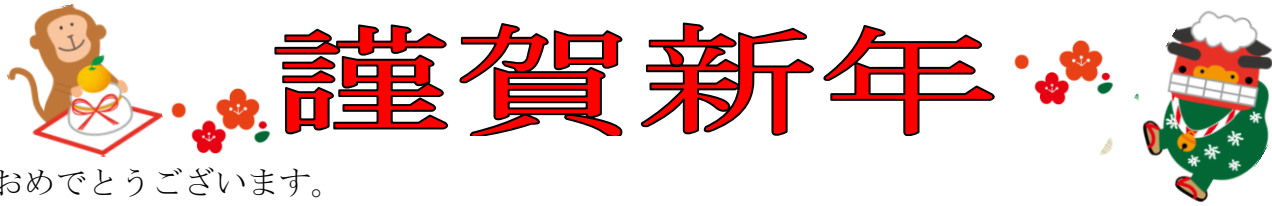
今年には診療報酬改定があり、中部協同病院においては中長期計画の中で新病院建設への取り組みという大きなプロジェクトがあります。これをチャンスと捉え、地域組合員のお力をお借りしながら医療・介護の分野で大きく前進できるように職員一同頑張っていきたいと思っております。

今年もどうぞよろしくお願いたします

中部協同病院

総看護師長 砂川淳子





あけましておめでとうございます。

昨年は辺野古の新基地建設反対運動から始まり、今まだその戦いは続いております。

今年は、宜野湾市長選挙を皮切りに6月の県議会選挙、そして7月には参議院選挙が行われます。オール沖縄の力を拡大し、全ての選挙に勝利して「辺野古に基地はつくらせない」「普天間基地は無条件撤去」を推し進めて行きましょう。

さて、中部地域では昨年の5月に特別養護老人ホーム知花の里の開設もあり、現在では生協美里ハウス・石川にじの家・そして中部協同病院4事業所で連携を取りながら中部地域での医療・活動を行っております。

中部協同病院の2015年は慌ただしい年でした。昨年の上半においては、増改築を行い環境整備を整えて行く計画でしたが、その後、移転等の話もあり心配もお掛けしましたが、最終的には中部協同病院を現在の場所で新築して行く計画の検討に入っております。今後は、組合員の力と知恵もお借りしながら急ピッチに進めていく事になると思いますので、お力添えよろしくお願いいたします。

今年も生協事業所、地域組合員、他の医療機関との連携を深め、当院の役割を果たしながら地域の方々に信頼される医療・介護活動を発展させていきたいと思っています。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。



中部協同病院
事務長 嘉数 浩明



クリスマス特別メニュー&ワゴンサービス



12月25日にクリスマス特別メニューを提供しました。

「ローストチキンが食べたい！！」という患者様の希望にこたえるため、チキンをパイヤ酵素で柔らかくし、軟菜食でも食べられるよう仕上げました。メインディッシュをローストチキンと鮭のテリーヌの2種類準備し、食事の形態に合わせて提供しました。

おやつにはサンタクロースによるケーキのワゴンサービスも行いました。

この日も喜ぶ笑顔や「肉が軟らかくて美味しかった」、「ありがとう」の言葉を頂きました。

これからも患者様が笑顔になれるような食事を提供できるようにしていきたいと思

★ います。



栄養管理室



ボランティアの池宮城さんと



2015年12月12日(土)に今年度4月から行われていた新規採用者事務系職員の教育研修が終了しました。中協の受講者の感想を一部抜粋して紹介します。

これまで受講した全過程が良い経験で、病院・医療を“知る”貴重な内容でした。
医事課 諸見里眞伍

他部署も含め、患者に気を配りながらの多忙な業務はやはり大変である事を経験できた。
医事課 喜納亮

各事業所、各職種のことを浅くではあるが、広く学べた。今後の仕事に活かしたい。
地域連携室 稲福恵子

事務系職員教育
沖縄民医連